

## (8) 花き類(草本植物)・観葉植物

RPA

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	備考
青枯病	カスタート® 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(I*)	劇	30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	トコロール	コロビ® クリン燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り3~6mL<圃場>1穴当り2~3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)	
	ハースアミド® 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(I*)	劇	30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
萎黄病	カスタート® 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ハースアミド® 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
萎凋病	カスタート® 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ハースアミド® 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
萎黄病(フザリウム菌)	コロビ® クリン	コロビ® クリンくん蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り3~5mL<圃場>1穴当り2~3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)	
	トコロール	コロビ® クリン燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り3~6mL<圃場>1穴当り2~3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)	
うどんこ病	アンビフルアール	ヘキサゾール水和剤	3		1000倍	150~300g/10a	発病初期	散布	7回以内	ばら、きくを除く
	エコビタ液剤	エコビタ液剤	還元澱粉糖化物液剤	「-」		100~200倍	100~300g/10a	発生初期	散布	
	カッテン乳剤	フルチアニル乳剤	U13		5000倍	100~300g/10a	発病前~発病初	散布	2回以内	
	カリグリーン	炭酸水素カリウム水溶剤	NC		800倍	150~500g/10a	発病初期	散布	-	きくを除く
	サンクリスタル乳剤	サンクリスタル乳剤	脂肪酸グリセリド乳剤	「-」		600倍	150~500g/10a	-	散布	
	パンチョTF顆粒水和剤	シフルフェナミド・トリフルミゾール水和剤	3,U6		2000倍	100~300g/10a	-	散布	2回以内	
	ホリキシンAL水溶剤	ホリキシン水溶剤	"「-」(I*)		2500倍	100~300g/10a	発病初期	散布	8回以内	
モレスタン水和剤	キノキサリン系水和剤	"UN(I*)		2000~3000倍	100~300g/10a	発病初期	散布	10回以内	カーネーションを除く	
株腐病	カスタート® 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ハースアミド® 微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20~30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	備考
株腐病	リゾ レックス水和剤	トルクロホスメチル水和剤	14		500～1000倍	3 $\frac{\text{g}}{\text{m}^2}$	生育期	土壌灌注	5回以内	
球根腐敗病	ガ スタート 微粒剤	ダ ソ メット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ハ スアミト 微粒剤	ダ ソ メット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
菌核病	トップ ジ ョンM水和剤	チオファネートメチル水和剤	1		1500倍	100～300 $\frac{\text{g}}{\text{a}}$	-	散布	5回以内	トルコギ キョウを除く
茎腐病	リゾ レックス水和剤	トルクロホスメチル水和剤	14		500～1000倍	3 $\frac{\text{g}}{\text{m}^2}$	生育期	土壌灌注	5回以内	
黒斑病	ボ リオキシ AL水溶剤	ボ リオキシ水溶剤	"[-] (I*)		2500倍	100～300 $\frac{\text{g}}{\text{a}}$	発病初期	散布	8回以内	
根頭がんしゅ病	ガ スタート 微粒剤	ダ ソ メット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ハ スアミト 微粒剤	ダ ソ メット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
首腐病	ガ スタート 微粒剤	ダ ソ メット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ハ スアミト 微粒剤	ダ ソ メット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
白絹病	ガ スタート 微粒剤	ダ ソ メット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ハ スアミト 微粒剤	ダ ソ メット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	モンカットフロアブル40	フルトラニル水和剤	7		1000～2000倍	100～300 $\frac{\text{g}}{\text{a}}$	-	株元散布	3回以内	
	リゾ レックス水和剤	トルクロホスメチル水和剤	14		500～1000倍	3 $\frac{\text{g}}{\text{m}^2}$	-	株元灌注	5回以内	
立枯病	ガ スタート 微粒剤	ダ ソ メット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ハ スアミト 微粒剤	ダ ソ メット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	リゾ レックス水和剤	トルクロホスメチル水和剤	14		500～1000倍	3 $\frac{\text{g}}{\text{m}^2}$	生育期	土壌灌注	5回以内	
	リゾ レックス粉剤	トルクロホスメチル粉剤	14		50kg/10a		定植前	土壌混和	1回	
苗立枯病(リゾ フトア菌)	ガ スタート 微粒剤	ダ ソ メット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ハ スアミト 微粒剤	ダ ソ メット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
灰色かび病	アフェットフロアブル	ベンチピラト 水和剤	7		2000倍	100～300 $\frac{\text{g}}{\text{a}}$	発病初期	散布	3回以内	きく、ゆり、チューリップ、りんどうを除く
	ゲッター水和剤	ジエトフェカルブ・チオファネートメチル水和剤	1,10		1000倍	100～300 $\frac{\text{g}}{\text{a}}$	-	散布	5回以内	ひまわり、ゼラニウムを除く

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	備考
灰色かび病	セヒ <sup>®</sup> ア-フロアブ <sup>®</sup> ル20	フルジ <sup>®</sup> オキソニル水和剤	12		1000倍	100～300L/10a	発病前～発病初	散布	4回以内	
	チオノックフロアブ <sup>®</sup> ル	チウラム水和剤	M3		500倍	100～500 $\mu$ g/10a	発病初期	散布	6回以内	りんどうを除く
	トレノックスフロアブ <sup>®</sup> ル	チウラム水和剤	M3		500倍	100～500 $\mu$ g/10a	発病初期	散布	6回以内	りんどうを除く
	フルビ <sup>®</sup> カフロアブ <sup>®</sup> ル	メバ <sup>®</sup> ニビ <sup>®</sup> リム水和剤	9		2000～3000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発病初期	散布	5回以内	ばら、スターチス、宿根 かすみそう、ゆり、 りんどうを除く
	ホ <sup>®</sup> リキシンAL水溶剤	ホ <sup>®</sup> リキシン水溶剤	"[-](I*)		2500倍	100～300 $\mu$ g/10a	発病初期	散布	8回以内	
	ホ <sup>®</sup> リベ <sup>®</sup> リン水和剤	イミノタジ <sup>®</sup> ン酢酸塩・ホ <sup>®</sup> リキシン水和剤	"[-](I*),M7		1000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発病初期	散布	8回以内	ストック、スターチス、チューリップ、ばら、クルマ、きくを除く
半身萎凋病	カ <sup>®</sup> スタート <sup>®</sup> 微粒剤	タ <sup>®</sup> ゾ <sup>®</sup> メット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ト <sup>®</sup> ロコロ <sup>®</sup> ル	クロルビ <sup>®</sup> クリン燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り3～6mL<圃場>1穴当り2～3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)	
	バ <sup>®</sup> スアミド <sup>®</sup> 微粒剤	タ <sup>®</sup> ゾ <sup>®</sup> メット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
ビ <sup>®</sup> シウム・リゾ <sup>®</sup> 外ニア菌による病害(苗立枯病等)	オ-ソサイト <sup>®</sup> 水和剤80	オ-ソサイト <sup>®</sup> 水和剤80	キャブ <sup>®</sup> タン水和剤	M4		種子重量の0.2～0.4%	-	は種前	種子処理機による種子粉衣	
ザ <sup>®</sup> リウム・リゾ <sup>®</sup> 外ニア菌による病害(苗立枯病等)	ホ-マイ水和剤	ホ-マイ水和剤	チウラム・チオファネートメチル水和剤	1,M3		種子重量の1.0%		は種前	種子処理機による種子粉衣	観葉植物適用外
リゾ <sup>®</sup> 外ニア菌による病害(苗立枯病等)	バ <sup>®</sup> シタック水和剤75	メブ <sup>®</sup> ロニル水和剤	7		乾燥種子重量の0.4%		は種前	種子処理機による種子粉衣	1回	観葉植物適用外
	モンカット水和剤	フルトラニル水和剤	7		種子重量の0.5～		は種前	種子処理機による種子粉衣	1回	観葉植物適用外
アオムシ	オルトラン水和剤	アセフェート水和剤	1B		1000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	5回以内	
	スミチオン乳剤	MEP乳剤	1B		1000倍	100～300 $\mu$ g/10a	-	散布	6回以内	
アザミウマ類	アグ <sup>®</sup> リメック	アバ <sup>®</sup> メクチン乳剤	6	劇	500倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	5回以内	ガ <sup>®</sup> -ベ <sup>®</sup> ラを除く
	アフアーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩乳剤	6		2000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	5回以内	
	オルトラン水和剤	アセフェート水和剤	1B		1000～1500倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	5回以内	
	オルトラン粒剤	アセフェート粒剤	1B		3～6kg/10a		発生初期	株元散布	5回以内	きく、宿根スターチス、カーネーション、アリウム、た であいを除く
	オンコル粒剤5	ヘ <sup>®</sup> ンフラカルブ <sup>®</sup> 粒剤	1A		6kg/10a		生育期	株元散布	3回以内	きく、ストックを除く
	スミチオン乳剤	MEP乳剤	1B		1000倍	100～300 $\mu$ g/10a	-	散布	6回以内	

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	備考	
アザミヤカ類	ダブリンシューター-SE	脂肪酸グリセリド・スピノサド水和剤	「-」,5		1000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	2回以内		
	ディアナSC	スピネトラム水和剤	5		2500～5000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	2回以内	りんどうを除く	
	ハチハチフロアブル	トルフェンボラト水和剤	"21A(I*)	劇	1000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	4回以内		
	モスピラン顆粒水溶剤	アセタミプリド水溶剤	4A	劇	2000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	5回以内	スタッフ、りんどうを除く	
アブラムシ類	アテイオン乳剤	ベルメトリン乳剤	3A		2000～4000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	6回以内	はぼたんを除く)	
	アドマイヤーフロアブル	イミダクロプリド水和剤	4A	劇	2000倍	100～200 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	5回以内	きくを除く	
	エコビタ液剤	還元澱粉糖化物液剤	「-」		100倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	-		
	オルトラン水和剤	アセフェート水和剤	1B		1000～1500倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	5回以内		
	オルトラン粒剤	アセフェート粒剤	1B		3～6kg/10a		発生初期	株元散布	5回以内	きく、宿根スターチス、カーネーション、アリウム、たであいを除く	
	コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン水和剤	9B		4000倍	100～300L/10a	発生初期	散布	4回以内		
	スカウトフロアブル	トラロメトリン水和剤	3A	劇	2000～3000倍	100～300 $\mu$ g/10a	-	散布	5回以内	宿根かすみそう、グラジオリス、トルコギキョウ、りんどうを除く	
	チェス顆粒水和剤	ピメトジン水和剤	9B		5000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	4回以内		
	ヘーストガード水溶剤	ニテンピラム水溶剤	4A		1000～2000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	4回以内	ばら、きくを除く	
	ヘーストガード粒剤	ニテンピラム粒剤	4A		1～2g/株		発生初期	生育期株元散布	4回以内		きく、きんせんかを除く
	モスピランジェット	アセタミプリドくん煙剤	4A	劇	くん煙室容積400立方 $\mu$ (床面積200 $\text{m}^2$ ×高さ2m)当り50g		発生初期	くん煙	5回以内	トルコギキョウを除く	
	モスピラン顆粒水溶剤	アセタミプリド水溶剤	4A	劇	2000～4000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	5回以内	スタッフ、りんどうを除く	
ロテイ乳剤	フェンプロパトリン乳剤	3A	劇	1000倍	100～300 $\mu$ g/10a	-	散布	6回以内			
オオカミカ	アクセルフロアブル	メタアルミジン水和剤	22B		1000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	6回以内	きくを除く	
	アファーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩乳剤	6		1000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	5回以内		
	ディアナSC	スピネトラム水和剤	5		2500～5000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	2回以内	りんどうを除く	
	フェニックス顆粒水和剤	フルベンジアミド水和剤	28		2000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	4回以内	きく、りんどうを除く	
	プレオフロアブル	ピリダリル水和剤	UN		1000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	4回以内		
カクツリ類	ナメクリン3	メタアルテヒド粒剤	「-」		1～3kg/10a		-	株元散布	6回以内		

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	備考
カメシ類	アデイオン乳剤	ヘルメリン乳剤	3A		2000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	6回以内	はぼたんを除く
コジラミ類	エコビタ液剤	還元澱粉糖化物液剤	「-」		100～200倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	-	
	コルト顆粒水和剤	ピリフルキサゾン水和剤	9B		4000倍	100～300L/10a	発生初期	散布	4回以内	
	チェス顆粒水和剤	ピメトジン水和剤	9B		5000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	4回以内	
	ディアナSC	スピネトラム水和剤	5		2500倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	2回以内	りんどうを除く
	ベストガード水溶剤	ニテンピラム水溶剤	4A		1000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	4回以内	ばら、きくを除く
	ラノテープ	ピリプロキシフェン剤	7C		50m <sup>2</sup> /10a		栽培期間中	作物体の付近に設置する。	1回	施設栽培
センチュウ類	トコロール	コロルピクリン燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り3～6mL<圃場>1穴当り2～3mL		土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)		
ナメクジ類	ナメクリン3	メタルデヒド粒剤	「-」		1～3kg/10a	-	株元散布	6回以内		
ネキリムシ類	トコロール	コロルピクリン燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り3～6mL<圃場>1穴当り2～3mL		土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)		
	ネキリハイト	ヘルメリン粒剤	3A		3g/m <sup>2</sup>		生育初期	株元散布	6回以内	
ネコブセンチュウ	カスタード微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ハスアミド微粒剤	ダゾメット粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
ハスモンヨトウ	フェニックス顆粒水和剤	フェニックス顆粒水和剤	フルベソジアミド水和剤	28		2000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	きく、りんどうを除く
	プレオフロアブル	プレオフロアブル	ピリダリル水和剤	UN		1000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	
	マッチ乳剤	マッチ乳剤	ルフェエロン乳剤	15		2000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	きくを除く
ハダニ類	アグリメック	アハメクチン乳剤	6	劇	500倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	5回以内	ガーベラを除く
	エコビタ液剤	還元澱粉糖化物液剤	「-」		100倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	-	
	カネマイトフロアブル	アセキノシル水和剤	20B		1000倍	150～300 $\mu$ g/10a	-	散布	1回	ばら、きく、カーネーション、デルフィニウムを除く
	コテツフロアブル	コロルフェナピル水和剤	13	劇	2000倍	150～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	2回以内	きく、ストックを除く
	サンクリスタル乳剤	脂肪酸グリセリド乳剤	「-」		600倍	150～500 $\mu$ g/10a	-	散布	-	
	ダニサラハフロアブル	シフルメトフェン水和剤	25A		1000倍	100～350 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	2回以内	
	ダニトフロアブル	フェンピロキシメト水和剤	21A		1000～2000倍	150～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	1回	
	テデオ乳剤	テトラジホン乳剤	12D		500～1000倍	100～300 $\mu$ g/10a	発生初期	散布	10回以内	

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	備考
ハダニ類	ニツラン水和剤	ヘキシチアゾクス水和剤	10A		2000～3000倍	100～300g/10a	-	散布	2回以内	
	ハダックフロアブル	エトキサゾール水和剤	10B		2000倍	100～300g/10a	発生初期	散布	1回	
	ビラニカEW	テブフェンピラト乳剤	"21A(I*)	劇	2000倍	150～300g/10a	発生初期	散布	1回	カーネーション、きくを除く
	ロテイエ乳剤	フェンプロパトリン乳剤	3A	劇	1000倍	100～300g/10a	-	散布	6回以内	
	粘着くん液剤	テンプン液剤	「-」		100倍	150～300g/10a	発生初期	散布	-	
	粘着くん液剤	ヒドロキシプロピル化リン酸架橋 テンプン液剤	「-」		100倍	150～300g/10a	発生初期	散布	-	
ハダニ類	スミチオン乳剤	MEP乳剤	1B		1000倍	100～300g/10a	-	散布	6回以内	
ハマキムシ類	アテイオン乳剤	ペルメトリン乳剤	3A		2000倍	100～300g/10a	発生初期	散布	6回以内	はぼたんを除く
	スミチオン乳剤	MEP乳剤	1B		1000倍	100～300g/10a	-	散布	6回以内	
ハダニ類	アクタラ顆粒水溶剤	チアマトキサム水溶剤	4A		2000倍	100～300g/10a	発生初期	散布	6回以内	宿根アスター、トルコギキョウ、きくを除く
	アファーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩乳剤	6		1000倍	100～300g/10a	発生初期	散布	5回以内	
	テリアナSC	スピネトラム水和剤	5		2500～5000倍	100～300g/10a	発生初期	散布	2回以内	りんどうを除く
ハダニ類	トコロール	コロルビクリン燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り3～6mL<圃場>1穴当り2～3mL		土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)		
マハダニ類	トリガード液剤	シロマジン液剤	17		1000倍	100～300g/10a	発生初期	散布	4回以内	
ミカンキイロアザミウマ	アクタラ顆粒水溶剤	チアマトキサム水溶剤	4A		1000倍	100～300g/10a	発生初期	散布	6回以内	宿根アスター、トルコギキョウ、きくを除く
	コテツフロアブル	クロルフェナピル水和剤	13	劇	2000倍	150～300g/10a	発生初期	散布	2回以内	きく、ストックを除く
ヨトウムシ類	アテイオン乳剤	ペルメトリン乳剤	3A		2000倍	100～300g/10a	発生初期	散布	6回以内	はぼたんを除く
	アファーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩乳剤	6		1000倍	100～300g/10a	発生初期	散布	5回以内	
	オルトラン水和剤	アセフェート水和剤	1B		1000倍	100～300g/10a	発生初期	散布	5回以内	
	オルトラン粒剤	アセフェート粒剤	1B		6kg/10a		発生初期	株元散布	5回以内	きく、宿根アスター、カーネーション、アリウム、たであいを除く
	コテツフロアブル	クロルフェナピル水和剤	13	劇	2000倍	150～300g/10a	発生初期	散布	2回以内	きく、ストックを除く
	ノモルト乳剤	テフルベンスロン乳剤	15		2000倍	100～300g/10a	発生初期	散布	2回以内	